

原因調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
1	A202200328 令和4年7月24日(三重県) 令和4年8月1日	電気掃除機(充電式、モップ型)	EI-70266	マリン商事株式会社	(火災) 当該製品に他社製のACアダプターを接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、当該製品には、出力電圧が付属の純正品より2倍以上高い他社製ACアダプターが接続されていた。 ○当該製品は、モップとハンドルとの付け根部分が焼失し、付け根付近に取り付けられたリチウムイオン電池セル2個及び制御基板が脱落していた。 ○電池セル2個は焼損が著しく、内部電極体が封口体側へ移動していた。 ○充放電制御基板及びモーターに出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品本体に充電器を接続するDCジャックは、他社製のACアダプターが接続可能である汎用的な形状であった。 ○取扱説明書には、「充電には付属のACアダプター以外は使用しない。異なるACアダプターを使用した場合、内蔵電池が過充電を起し、発煙や火災に繋がる恐れがある。」旨、記載されていた。 ●当該製品は、他社製のACアダプターで充電されたため、過充電となってリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
2	A202200862 令和5年1月9日(静岡県) 令和5年1月26日	携帯電話機(スマートフォン)	KYV48(KDDI株式会社auブランド)	京セラ株式会社(KDDI株式会社auブランド)	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生場所は、充電中の当該製品が置かれていた座布団が焼失し、座布団下の畳が焼け抜けていた。 ○当該製品は、樹脂製外郭の背面が焼損して内蔵バッテリーが露出していたが、前面は表面ガラスに焼損は認められず、樹脂製外郭の側面及び上下面はほとんど焼損していなかった。 ○内蔵バッテリーのリチウムイオン電池セルは焼損し、内部電極体の正極板が焼失して負極板に穴空きが認められた。 ○充放電保護基板は焼損していたが、局所的な焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○本体内部のメイン基板、USB接続部、スピーカー等の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品を充電していた充電器は、DCコードの一部で被覆が焼損していたが、芯線に熔融等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、バッテリー内のリチウムイオン電池セルに焼損が認められたが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
3	A202200879 令和5年1月16日(埼玉県) 令和5年1月30日	リチウム蓄電池	NKC-DT2000	中西金属工業株式会社	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、前使用者が3年間使用した後、倉庫で4年間保管したものを使用者が中古で購入したもので、購入後初めての充電中に事故が発生した。 ○当該製品は、前面の通気口にすずが付着していたが、外観に焼損は認められなかった。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル4個が焼損しており、そのうちの2個については内部の電極体に欠損、穴空きが生じていた。 ○焼損した電池セルを含む複数の電池セルのアルミ製正極板に銅の析出が認められた。 ○基板類、内部配線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○取扱説明書には、「6か月を目安に充電する。長期間放置すると、必要な時に使用できなくなることがある。」旨、記載されている。 ○事故発生時の充電開始前の電圧表示は5V(正常品は20~26.6V)であった、との申出内容であった。 ●当該製品は、前使用者が4年間使用しない間にリチウムイオン電池セルの負極板から溶出した銅が、中古品として入手した使用者が充電した際に正極板に析出したため短絡が生じて焼損したものと推定されるが、電池セル電極体の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
4	A202201067 令和5年2月28日(広島県) 令和5年3月20日	電気こたつ	KCK-750MD	ユアサプライム ス株式会社	(火災、軽傷1名) 当該製品を使用中、 当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生し、 1名が火傷を負った。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は外観上、電源コードの器具側接続プラグのみに破損が認められた。 ○器具側接続プラグは、樹脂製外郭のねじ止め部が破損していたほか、内部に焼損が認められた。 ○器具側接続プラグ内部の接続金具は、両極が焼損していたほか、溶融及び一部に欠損が認められた。 ○ヒーターユニットの接続用ピン端子部に溶融や付着物等の異常は認められなかった。 ●当該製品は、器具用プラグ内部の接続金具の異極間で短絡し、焼損したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
5	A202300074 令和5年3月13日(宮城県) 令和5年5月1日	電気こたつ	KCA-750M(IV)	ユアサプライム ス株式会社	(火災) 当該製品を使用中、 当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、やぐらの中天板の4か所において、ねじ止めのL字金具を介してヒーターユニットが取り付けられている構造であった。 ○当該製品は、やぐらからヒーターユニットが脱落しており、ヒーターガードの一部に焼損が認められた。 ○ねじ止めの4個のL字金具は脱落したヒーターユニット側に付いている状態であった。 ○L字金具をやぐらの中天板に固定するねじは、4本のうち1本だけが残っており、ほか3本が確認できなかったほか、ねじが残っていたL字金具1個に変形が認められた。 ○やぐらの中天板のねじ穴は、4か所のうち、ねじが残っていた1か所において破損が認められた。 ○ヒーターユニットは、ガードに繊維物と思われる焼損物が付着していたが、ヒーターユニットを通電したところ正常に動作した。 ●当該製品は、ヒーターユニットがやぐらから脱落したことで、敷物に接触し焼損したものと推定されるが、ヒーターユニットが脱落した経緯が不明のため、製品起因か否かも含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
6	A202300147 令和5年5月8日(岐阜県) 令和5年5月22日	電子レンジ	RE-SS10X-W	シャープ株式 会社	(火災) 当該製品を使用中、 発煙・出火する火災 が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、金属製外郭左側の排気口にすずが付着しており、庫内等に焼損は認められなかった。 ○本体内部の右側及び後面の電気部品に焼損は認められなかったが、左側下部のマグネトロン及び冷却用樹脂製ダクトに焼損が認められた。 ○マグネトロンは、配線接続端子部及びノイズ除去用貫通コンデンサーが焼損して、放熱用アルミ製フィンの一部が溶融し、アンテナ部に変色が認められた。 ○マグネトロンに接続する内部配線及び平形接続端子は、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○マグネトロン内部のフィラメントは異常発熱した痕跡は認められなかった。 ○基板、モーター等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、マグネトロンが異常発熱したため、周囲の樹脂が過熱されて焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、マグネトロンが異常発熱した原因の特定はできなかった。 	
7	A202300556 令和5年9月4日(佐賀県) 令和5年9月22日	パワーコンディ ショナ(太陽光 発電システム 用)	JH-L404	シャープ株式 会社	(火災) 当該製品を焼損する 火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、外郭にすずが付着していたほか、内部ではDC-DCコンバーター4個のうち、1個が著しく焼損していた。 ○焼損したDC-DCコンバーターは、太陽電池モジュールからのケーブルを接続する端子台部の焼損が著しく、ケーブル先端の丸形圧着端子が溶融して原形をとどめていなかった。 ○焼損したDC-DCコンバーターは、端子台部以外に出火の痕跡は認められなかった。 ○インバーター基板、内部配線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、太陽電池モジュールからのケーブルを接続する端子台部で異常発熱が生じ、焼損したものと推定されるが、端子台部の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
8	A202300612 令和5年10月1日(青森県) 令和5年10月12日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	JH-S1C2P	シャープ株式会社	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の外観は焼損していなかったが、内部のDC-DCコンバーター基板に焼損が認められた。 ○DC-DCコンバーター基板は、入力側端子の上部の焼損が著しく、基材の一部が欠損して穴が空いていたほか、フィルムコンデンサー等の電子部品に焼損が認められた。 ○インバーター基板、端子台等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○リモコンのエラー履歴を確認した結果、約2年前から事故発生までに、DC-DCコンバーターの動作不良エラーで動作停止したことが7回発生していた。 ●当該製品は、DC-DCコンバーター基板上で異常発熱が生じて焼損したものと推定されるが、基板の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
9	A202300708 令和5年11月5日(熊本県) 令和5年11月17日	コンセント付洗面化粧台	LMZ755HR	TOTOハイリビング株式会社	(火災) 異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、右側の照明スイッチ付きコンセントから上に向かって焼損していた。 ○コンセント部は、焼損が著しく、樹脂製外郭の一部が焼失していた。 ○内部のコンセント固定用金属プレート及び刃受金具が腐食していたほか、溶融痕が認められた。 ○焼損部を成分分析した結果、ナトリウム及びカリウムが検出された。 ○左側コンセントは、固定用金属プレート等に腐食は認められなかった。 ○照明、内部配線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、コンセント内部に水分等が浸入したため、コンセント内部の刃受金具間でトラッキング現象が発生し、焼損したものと推定されるが、コンセント部の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
10	A202300821 令和5年11月20日(福島県) 令和5年12月20日	リチウム電池内蔵充電器	A1621	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、リチウムイオン電池セル収納側の樹脂製外郭が外側にめくれ上がるように焼損、溶融していた。 ○電池セルの封口体は外れていなかったが、焼損が著しく、缶底部に膨らみが認められた。 ○電池セルを解体すると内部電極体は炭化固着していた。 ○基板は焼損していたものの、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
11	A202300833 令和5年11月29日(佐賀県) 令和5年12月21日	食器洗い乾燥機(ビルトイン式)	FB4503PD(松下電工株式会社ブランド:型式QG24EW2)	株式会社ハーマン(松下電工株式会社ブランド)	(火災) 当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の外観は、背面下部を中心に焼損が認められた。 ○当該製品の背面下部に横置きに取り付けられていた漏電遮断器付近に焼損が認められた。 ○漏電遮断器は、入力端子部の焼損が著しく、端子台の一部が焼失していた。 ○電動ポンプ、ファンモーター等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○漏電遮断器上に大量の小動物のふんが堆積していたほか、内部の天板支持用スチロール樹脂が小動物にかじられたような痕跡が認められ、かじられた樹脂破片及び小動物のふんが底部に散乱していた。 ●当該製品は、内部に侵入した小動物の排せつ物等が漏電遮断器の端子部に堆積して、短絡が生じたため、焼損した可能性が考えられるが、端子部の焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
12	A202300850 令和5年6月11日(埼玉県) 令和5年12月26日	照明器具(充電式)	CF HYAKUSHIKI (株式会社 WHITE BASE CAMPブランド)	株式会社e- Link Design(株 式会社WHITE BASE CAMPブ ランド)	(火災) 当該製品を充電中、 当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生 した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の樹脂製外郭は、本体中央付近よりランプ側が著しく焼損し、ランプカバー等は原形をとどめていなかった。 ○本体中央付近は、溶融した樹脂からリチウムイオン電池セルの正極部が露出していた。 ○電池セルは、外装缶の封口体が破損して開口し、内部に残存した電極体が認められた。 ○電極体は焼損が著しく、一部しか確認できなかった。 ○充放電制御基板、LED基板は、確認ができなかった。 ○USB端子は焼損しておらず、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、事故原因の特定には至らなかった。 	
13	A202300856 令和5年12月15日(神奈川県) 令和5年12月28日	靴	J5002374	株式会社丸紅 フットウェア	(重傷1名) 当該製品を履いて歩 行中、滑って転倒し、 胸部を負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○雨天時に当該製品を履いて商業施設前の階段を歩行中、滑って転倒した際にろっ骨を骨折した。 ○当該製品は、ゴム製の表底の意匠に著しい摩耗、変形及び破損は認められなかった。 ○ISO 13287「Personal protective equipment - Footwear - Test method for slip resistance」を準用して、当該製品及び同等品の湿潤状態(イオン交換水)におけるステンレス板上での動摩擦係数を測定したところ、当該製品の動摩擦係数は同等品と比較して低かった。 ○当該製品の表底を化学分析したところ、同等品と同じゴム材料が使用されていた。 ○取扱説明書には、「雨等でぬれた又は積雪で凍ったマンホール、タイル、大理石等の路面は滑りやすいので歩行には注意する。」旨、梱包箱には、「ぬれた路面では滑ることがあるので注意する。」旨、記載されている。 ●当該製品を履いて歩行中、滑って転倒したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
14	A202300875 令和5年12月20日(秋田県) 令和6年1月9日	電気式浴室換 気乾燥暖房機	BD-300(タカ ラスタンダード株 式会社ブラン ド)	シンワハイテ ク株式会社(現 マックス株式 会社)(タカラ スタンダード株 式会社ブランド)	(火災) 当該製品を使用 中、当該製品を焼損 する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製フロントパネルの吸込口及び樹脂製ファンが溶融していたほか、ファンモーターの焼損が認められた。 ○ヒーターのタブ端子に接続する平形接続端子の芯線カシメ部付近で、内部配線が断線しており、断線部に溶融痕が認められた。 ○ファンモーターは、外観が焼損していたものの、回転軸が固着しておらず、出火の痕跡は認められなかった。 ○PTCヒーター、基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○内部配線の断線部及びヒーターカバーの付着物から、塩素、硫黄、ナトリウム等が検出された。 ●当該製品は、ヒーター端子の芯線カシメ部付近の芯線が断線してスパークし、焼損したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
15	A202300879 令和5年12月9日(福岡県) 令和6年1月9日	電気洗濯機	NW-8PAM又は NW-7PAM	株式会社日立 製作所(現 日 立グローバル ライフソリュー ションズ株式 会社)	(火災) 当該製品をコンセ ントに接続していたと ころ、当該製品及び周 辺を焼損する火災が 発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、20年前にベランダに設置され、設置後間もなく故障した後も、電源プラグをコンセントに接続したまま放置されていた。 ○当該製品の金属製外郭は、著しく焼損し、樹脂製の外郭や部品は焼損して溶融し、底面で大きな塊になっており、その中に焼損した電気部品が埋没していた。 ○制御基板及びスイッチ基板は著しく焼損していたが、基材に穴空き等は認められなかった。 ○内部の電源線が断線しており、一部分が欠損して確認ができなかった。 ○電源プラグ先端から180mmの位置で電源コードは断線しており、断線部の片極に溶融痕が認められた。 ○駆動モーター、内部配線等、その他の確認できた電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○取扱説明書には、「異常、故障がある場合には、事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理を依頼する。」、「浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない。」旨、記載されている。 ●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があり、故障状態のまま屋外に放置し続けていたことも事故発生に影響した可能性も考えられ、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報 告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
16	A202300975 令和6年1月22 日(東京都) 令和6年2月2日	加湿器(超音波 式)	UHM-280S	アイリスオーヤ マ株式会社	(火災) 当該製品を使用中、 当該製品から発煙す る火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭に焼損は認められなかったが、本体内部の電気部品周辺にすずの付着が認められた。 ○電源基板は、銅箔パターン面のポッティング材の一部が焼損していた。 ○電源基板上のトランジスターは短絡故障し、電解コンデンサーは破裂していた。 ○当該製品は、使用前に塩素系洗剤とスポンジを使用して清掃され、水ですすがれていた。 ●当該製品は、電源基板上のトランジスターが短絡故障したため、基板に過電流が流れて異常発熱し、基板上の樹脂が焼損して発煙したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
17	A202301006 令和5年7月7日 (愛知県) 令和6年2月9日	バッテリー(リチ ウムイオン、電 動バイク用)	XH-480-24J	株式会社MS ソリューションズ	(火災) 異臭がしたため確認 すると、当該製品を焼 損する火災が発生し ていた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、電動バイクから外された状態で、約1年間使用されずに主に屋外で保管されていた。 ○当該製品の樹脂製外郭は、側面が溶融して穴が空いていた。 ○電動バイク接続用端子は著しい腐食が認められた。 ○外郭溶融箇所の内側に位置する制御基板は、コネクタ一部分が焼損しており、一部の接続端子が溶融して銅箔パターンの焼失が認められた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セルに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、本体内部に水分が浸入したため、制御基板のコネクタ一部で異常発熱し、焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
18	A202301016 令和5年10月6 日(愛知県) 令和6年2月14 日	照明器具(セン サー付、屋外 用)	DLA-2T100	株式会社大進	(火災) 当該製品から出火す る火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、本体及び電源コードの一部が焼損していた。 ○内部配線は、電源コードから基板までの間で両極共に断線しており、断線部の先端には溶融痕が認められた。 ○電源コードは2か所で断線しており、いずれも断線部先端に溶融痕があったほか、本体側断線部に屈曲が認められた。 ○電源プラグ、基板及びハロゲンランプに出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品はベランダの手すりに取り付けられ、防雨コンセントに延長コードで接続されていたが、事故発生時には強風が吹いており、近くに干されていた洗濯物も焼損していた。 ○ランプ表面に繊維物の付着は認められなかった。 ●当該製品は、内部配線で短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
19	A202400019 令和6年3月4日 (東京都) 令和6年4月4日	椅子	8VC11A-FVG7	株式会社オカ ムラ	(重傷1名) 店舗で当該製品から 立ち上がる際、転倒 し、床に手をつき、手 指を負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○使用者は、当該製品使用中に、5本の脚があるキャスターの1か所が外れたことで転倒し、右手中指を骨折したとの申出内容であった。 ○当該製品は、キャスターが外れていた脚部やキャスターに、割れや擦過痕等の異常は認められなかった。 ○当該製品は、脚部挿入穴の内径、キャスター軸の外径及びキャスターの引抜強度が設計値を満たしていた。 ○当該製品は、自分で組み立てる製品であり、キャスターは、あらかじめ脚部に取り付けた状態で梱包されている。 ○同等品を梱包した状態で落下させたところ、キャスターが外れることもあった。 ●当該製品は、脚部のキャスターが外れたことで使用者が転倒したものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因であるか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
20	A202400047 令和6年3月23日(神奈川県) 令和6年4月12日	ガラス製容器	454913188257 5	株式会社大創産業	(重傷1名) 当該製品の蓋を閉めようとしたところ、当該製品が破損し、右手指を負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該型式品は、竹製の蓋が付属された耐熱ガラス製の容器で、蓋には容器との接触面を気密するシリコンリングが付いており、蓋を容器に押し込んで密閉する構造であった。 ○当該製品の容器は全体が大小多数片に破損しており、破壊の起点は口元部から約10mm下の表面部で、起点部の破断面には擦り傷が認められたが、傷が生じた時期や経緯は不明であった。 ○当該製品の蓋は廃棄されており、確認することができなかった。 ○当該型式品の出荷前には、容器の気泡の有無、ひび割れの有無等の外観検査を全数実施しており、蓋を取り付けた状態で出荷している。 ○本体表示には、「落としたり、ぶついたりしない。」「破損した場合、直ちに使用を中止する。」旨、記載されている。 ●当該製品は、容器の本体口元付近の表面部に傷が生じ、蓋を閉めようとした応力等によって傷が伸展し、破損に至った可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
21	A202400120 令和6年1月26日(栃木県) 令和6年5月13日	鍋	455048037154 2	株式会社大創産業	(重傷1名) 当該製品を洗浄中、当該製品が割れ、負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品を使用後、しばらく放置して冷めた後にぬるま湯で洗浄したところ、当該製品が破断し、右手を負傷した。 ○当該製品は、一体成形で製造された直火専用の蓋付き土鍋である。 ○当該製品は、事故発生後に落下して破損しており、事故発生時の状態を維持していなかった。 ○本体側部が1/4ほど割れていたが、破断起点部は特定できなかった。 ○当該製品の破断面に、異物の混入や気泡は認められなかった。 ○類似品(当該製品と同じ工場で製造された同等仕様の製品)を用いて、JIS S 2400「陶磁器製耐熱食器」の熱衝撃試験を実施した結果、割れ、ひび及び欠けは認められなかった。 ○取扱説明書には、「使用前にひび割れ等ないか確認する。」「使用後は冷ましてから洗う。」旨、記載されている。 ●当該製品は、事故発生時の状態が維持されておらず、当該製品及び事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
22	A202400199 令和6年5月29日(大阪府) 令和6年6月5日	太陽電池モジュール(太陽光発電システム用)	PVM-120205	株式会社日本産業	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品を含む同型式品10枚の太陽電池モジュールが焼損しており、そのうち数枚の焼損が著しく、フレームのみが残存していた。 ○確認できたケーブルや端子ボックスに熔融等の出火の痕跡は認められなかった。 ○確認できた端子ボックスのバイパスダイオードに故障やはんだ付け不良は認められなかった。 ○太陽電池セルは焼失して確認できなかった。 ○事故発生前日は線状降水帯を伴う大雨であった。 ●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
23	A202400374 令和6年1月9日(石川県) 令和6年7月22日	靴(ルームシューズ)	461767	株式会社ユニクロ	(重傷1名) 当該製品を履いて歩行中、滑って転倒し、右足首を負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○使用者は、当該製品を履いたまま風呂の洗い場に入り、部屋に戻ろうとしたところ、水分が少し残っていた洗い場で滑って尻もちを付いた際に右足首を骨折したとの申出内容であった。 ○当該製品は外観上、破損等の異常はなく、乾燥状態における動摩擦係数は社内基準を満たしていた。 ○当該製品、同等品及び他社類似品で床面が湿潤状態における耐滑試験を実施した結果、動摩擦係数に大きな差異は認められなかった。 ○当該製品は商品モニター用として使用者が店舗で受け取ったものであり、「滑りやすい場所での使用はスリップ、転倒の原因になる。」旨の注意が記載されたプライスタグは、モニター商品のため取り外されて、使用者に当該製品を渡した可能性があった。 ●当該製品に異常は認められないことから、ぬれた風呂の洗い場で使用したため、滑って転倒したのと考えられるが、注意表示のあるプライスタグが使用者に渡されなかった可能性があり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
24	A202400448 令和6年6月26日(東京都) 令和6年8月7日	電気掃除機(自走式)	T2255	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭の天面及び側面に焼損は認められなかったが、底面のバッテリー収納部及びその周辺に焼損が認められた。 ○当該製品のバッテリーに内蔵された4個のリチウムイオン電池セルは著しく焼損し、そのうち3個は封体が外れて内部の電極体が飛び出した状態であった。 ○バッテリーの基板は焼損し、メイン基板は汚損していたが、基材の焼け抜け等、出火の痕跡は認められなかった。 ○充電器、製品内部のモーター等の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該型式製品に用いられているバッテリーは、特定の製造時期において不具合による出火事故が発生しておりリコールを実施しているが、当該製品の製造時期はリコール対象品とは異なっていた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが内部短絡して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
25	A202400498 令和6年8月11日(福岡県) 令和6年8月22日	ライター(使い切り型)	D-72CR	株式会社リールイン	(火災、重傷1名) 車両内で当該製品を使用後、衣服のポケットに入れたところ、衣服が燃えて火傷を負う火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、チャイルドレジスタンス機能を有しており、点火ボタン上面にスライド式ストッパーがあって、ストッパーを風防から離れる方向へスライドさせた後、ストッパーを押し下げるとその直下の点火ボタンも押し下がることで点火する方式である。 ○当該製品は、点火ボタン上面のストッパーがわずかにずれた状態でその端部が風防に引っかかり、点火ボタンが正常な消火位置まで戻らず固定されていた。 ○ストッパーの引っかかりを外すと、点火ボタンは正常な消火位置に戻ったが、燃料が残っていなかったため、点火ボタンの操作による点火及び消火具合を確認できなかった。 ○本体内部に部品の破損、変形及び異物は認められなかった。 ○点火ボタンを元の位置に戻した当該製品を用いて、ストッパーを風防から離れる方向にスライドさせた後、ストッパーをわずかに回転させて風防側へ押し付けながら点火ボタンを押し下げると、ストッパー端部が風防に引っかかって点火ボタンが途中まで押し下げられた状態で固定されることが確認された。 ○同等品を用いて同様に確認したところ、26個のうち3個で、ストッパーが風防に引っかかり、火がついたままとすることが確認された。 ○本体表示には、「消火を確認する。」旨、記載されている。 ●当該製品は、ストッパーを風防側に斜めに押しつけながら点火したことでストッパー端部が風防に引っかかり、点火ボタンが消火位置まで戻らなかったため、残火が生じた可能性があるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
26	A202400523 令和6年8月12日(東京都) 令和6年8月29日	ポータブル電源(リチウムイオン)	DELTA2・ZMR330-JP	EcoFlow Technology Japan株式会社	(火災) 発煙に気づき確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、使用者が設置したソーラーパネルからの出力によって充電をされており、ソーラーパネルと当該製品の間には、出力制御用の他社製チャージャーコントローラーが接続されていた。 ○当該製品のDC入力ポートには、他社製チャージャーコントローラーのDC出力が接続されていた。 ○当該製品は、樹脂製外郭等の大半が焼失していた。 ○上下の位置関係であった電源基板及び電池制御基板は焼損し、両基板は基材の穴空きの位置の一致が認められ、基板の下側に配置されていた16個のリチウムイオン電池セルは著しく焼損していた。 ○当該製品に接続されていた他社製チャージャーコントローラーは焼損しており、当該製品との接続ケーブルも未回収であった。 ○他社製チャージャーコントローラーの仕様等の詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、詳細な使用状況も不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
27	A202400537 令和5年8月18日(東京都) 令和6年8月30日	バッテリー(リチウムイオン、電動バイク用)	HY-BMS30	株式会社オフスケイ	(火災) 事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の焼損状態は確認できなかった。 ○事故発生以前の使用状況については、詳細な情報が得られなかった。 ○事故発生時の状況については、充電中でなかったことを除き、詳細な情報が得られなかった。 ●当該製品は、焼損状態及び使用状況等が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報 告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
28	A202400569 令和6年8月4日 (千葉県) 令和6年9月6日	ポータブル電源 (リチウムイオン)	FCAR-PD150B (株式会社 WiNEEDS HOLDINGSブ ランド)	株式会社Li Corporation (株式会社 WiNEEDS HOLDINGSブ ランド)	(火災、軽傷1名) 当該製品を充電中、 当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生 し、1名が軽傷を負っ た。	○異音が聞こえたため確認したところ、当該製品から白煙が上がり、左右側面から炎が上がったとの申出内容であった。 ○回収できた焼損物から当該製品は確認できなかった。 ●当該製品の確認ができなかったため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
29	A202400596 令和6年9月1日 (愛知県) 令和6年9月11 日	パワーコンディ ショナ(太陽光 発電システム 用)	PVN-403(京セ ラ株式会社ブ ランド)	オムロン株式 会社(現 オム ロンソーシアル ソリューション ズ株式会社) (京セラ株式 会社ブランド)	(火災) 当該製品及び周辺を 汚損する火災が発生 した。	○当該製品外観及び設置された壁に焼損は認められなかったが、上部通気口にすずが付着していた。 ○内部のメイン基板は、チョークコイルの焼損が著しく、近傍のフィルムコンデンサーが焼失し、基材の一部に欠損が認められた。 ○チョークコイルの上に位置する昇圧側電解コンデンサー5個は、防爆弁の開裂が認められた。 ○その他基板、配線等の電気部品に焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品に接続されている他社製昇圧ユニット2台のうち1台は、基板上の電気部品に故障が認められた。 ●当該製品は、メイン基板にある電解コンデンサーで電解液が液漏れしたため、基板上でトラッキング現象が生じて焼損したものと推定されるが、液漏れした原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
30	A202400606 令和6年8月11 日(神奈川県) 令和6年9月12 日	照明器具(充電 式、屋外用)	LEH-30BHA	株式会社畑屋 製作所	(火災) 事務所で当該製品を 充電中、当該製品を 焼損し、周辺を汚損す る火災が発生した。	○当該製品の金属製外郭に著しい損傷は認められなかったが、天面及び背面カバーの表示ラベルが焼損し、背面カバーの防水パッキンが溶融して変形していた。 ○背面カバーを固定するねじ1個が欠損していたが、他のねじに腐食は認められなかった。 ○内部は著しく焼損し、バッテリーの保護回路基板の銅箔パターンに著しい損傷が認められた。 ○内蔵のバッテリーは著しく焼損しており、複数のリチウムイオン電池セルに外装缶の膨張、電極体の密度低下が認められた。 ○付属のACアダプターの本体、電源プラグ、充電コードに出火の痕跡は認められなかったが、出力電圧や動作不良の有無は不明であった。 ○LEDドライバー基板、インジケータ基板の詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、バッテリーに内蔵のリチウムイオン電池セル又はバッテリー保護回路基板が異常発熱し、焼損したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	
31	A202400608 令和5年4月22 日(神奈川県) 令和6年9月13 日	リチウム電池内 蔵充電器	AT-MBA30P	株式会社コン ピューケース・ ジャパン	(火災) 電車内で当該製品及 び周辺を焼損する火 災が発生した。	○当該製品は外観上、アルミ製外郭が焼損していた。 ○当該製品の入出力コネクタが取り付けられていた制御基板は確認できなかったが、スイッチ基板から出火の痕跡は認められなかった。 ○リチウムイオン電池セルは焼損が著しく、防爆弁が作動していたが、外郭に変形は認められなかった。 ○出力コネクタに接続されていた充電ケーブルに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火した可能性が考えられるが、電池セルの焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
32	A202400625 令和6年9月12日(東京都) 令和6年9月20日	ノートパソコン	dynabook P2-T9VP-BL	株式会社東芝(現 Dynabook株式会社)	(火災) 宿泊施設で当該製品から発煙する火災が発生した。	<p>○当該製品の樹脂製外郭は、バッテリーの上部に位置するキーボード部左手前のパームレスト部が変形しており、表面に傷、へこみ等が認められた。</p> <p>○バッテリーは、内蔵するリチウムイオン電池セル4個のうち1個の電池セルが著しく焼損、膨張しており、内部の電極体が露出し、上面のパームレスト側にへこみが認められ、電極体のへこみ部分から周囲に向かって熱が加わった形跡が認められた。</p> <p>○キーボード部左手前のパームレストのへこみと焼損の著しい電池セルのパームレスト側のへこみの位置はおおむね一致した。</p> <p>○バッテリー内部の制御基板は一部が焼損していたが、基材に欠損、穴空き等の局所的な焼損は認められず、当該製品内部のその他の電気部品に焼損は認められなかった。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況等は不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
33	A202400637 令和6年9月6日(茨城県) 令和6年9月24日	エアコン	CS-222CF	パナソニック株式会社	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品は、樹脂製外郭が焼失し、内部の大部分の構成部品が脱落していた。</p> <p>○制御基板は、著しく焼損し、一部で基板が炭化して欠損しており、実装された電気部品の一部が脱落して確認できなかったが、電流ヒューズは切れていなかった。</p> <p>○表示基板及びリモコン受光基板は、焼損し原形をとどめていなかったが、接続されていた配線に溶融は認められなかった。</p> <p>○ルーバーモーターは確認できなかった。</p> <p>○端子板、ファンモーター等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。</p> <p>○事故発生時の詳細な状況は不明であった。</p> <p>●当該製品の残存する部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
34	A202400649 令和6年6月21日(神奈川県) 令和6年9月27日	エアコン	AS-E22R	株式会社富士通ゼネラル	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品の焼損は著しく、取り付けられていた壁面から完全に落下し原形をとどめていなかった。</p> <p>○残存していた当該製品のものと考えられる電源コードの芯線は、複数箇所断線しており、断線部に溶融痕が認められた。</p> <p>○ファンモーター、基板等の電気部品は確認できなかった。</p> <p>●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	
35	A202400682 令和5年7月25日(埼玉県) 令和6年10月4日	リチウム電池内蔵充電器	MT-516-9740(イマジニア株式会社ブランド)	株式会社ケイオー(イマジニア株式会社ブランド)	(火災) 当該製品を充電中、当該製品から発火する火災が発生した。	<p>○当該製品の樹脂製外郭、充電電制御基板、入出力接続端子は確認ができなかった。</p> <p>○当該製品に内蔵していたと考えられるリチウムポリマー電池セルの電極体は、正極アルミ箔の大部分が焼失しており、負極銅箔には欠損が認められた。</p> <p>○事故発生場所には、当該製品の他に事業者名、型式等不明のリチウム電池内蔵充電器2個が焼損していたが、焼損状況等の詳細は確認できなかった。</p> <p>●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、確認できない電気部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
36	A202400703 令和6年9月7日 (神奈川県) 令和6年10月8日	リチウム電池内蔵充電器	MT-516-9740 (株式会社グッドリダンスブランド)	株式会社ケイオー(株式会社グッドリダンスブランド)	(火災) 当該製品から出火する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○バッグの中で、当該製品を使用してスマートフォンを1時間ほど充電していたところ、当該製品から発煙が上がり出火した。 ○当該製品の樹脂製外郭は、電池セル収納部分を中心に焼失し、変形していた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セルは、電極体が全体的に焼損しており、正極アルミ箔は大部分が焼失していた。 ○充放電制御基板及び入出力接続端子は、確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
37	A202400726 令和5年7月30日 (千葉県) 令和6年10月11日	リチウム電池内蔵充電器	nb004bt	株式会社ハイスピリット	(火災) 車両内に置いていた当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、太陽光パネル2枚を備えたリチウム電池内蔵充電器で、事故発生時は窓を閉めた状態の乗用車の運転席側ダッシュボード上に置かれていた。 ○乗用車は運転席側のフロントガラスが割れてダッシュボードが著しく焼損し、当該製品は、樹脂製外郭が著しく焼損して内蔵のリチウムポリマー電池セルの電極体が飛び出していた。 ○事故発生時、当該製品の周辺に出火源となり得るものはなかった。 ○事故発生日、事故発生場所周辺の天候はおおむね晴れで、気温は朝から30℃を超え、事故が発生したとされる13時には35℃を超えていた。 ○事故発生以前の詳細な使用状況は不明であった。 ○取扱説明書には使用温度範囲は記載されていたが、保管場所及び使用環境に関する注意は記載されてなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
38	A202400732 令和6年5月15日 (大阪府) 令和6年10月16日	自転車	534110	トレック・ジャパン株式会社	(重傷1名) 当該製品で走行中、前輪がふらつき、ハンドルが操作できなくなり、転倒、負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品に乗車し、平たんな歩道を走行中に、突然前輪がガタガタして制御ができなくなりハンドル操作も利かなくなり転倒し負傷した。 ○当該製品は、ホークステムの内側表面に生じていた「くぼみ」が起点となり、円筒形ホークステムの半周以上にわたって疲労破壊が進み、破断していた。 ○当該製品のホークステムは、寸法、厚み、硬さに異常は認められなかった。 ○ホークステムの軸受け部に圧痕は認められなかった。 ○ホークステムの内面に影響を与えるような修理や点検は行われていなかった。 ●当該製品は、ホークステムの内面を起点とした亀裂が生じたため、亀裂が進展し破断に至ったものと推定されるが、詳細な状況が不明のため、製品起因であるか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
39	A202400739 令和5年10月7日 (千葉県) 令和6年10月16日	リチウムイオン電池	2200mAh-18650	ネットライフオートノミー株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、当該製品を含む3個の同型式品を充電式LED投光器に装填した状態でACアダプターを接続して充電されていた。 ○充電式LED投光器は、当該製品及び同型式品の装填部を中心に焼損し、樹脂製の電池カバーが焼損して、溶融、変形していたが、その他の部位の損傷状況は確認できなかった。 ○充電式LED投光器に装填されていたリチウムイオン電池3個のうち、1個は欠損して確認できなかった。 ○回収されたリチウムイオン電池2個は外装フィルムが焼損し、うち1個の電池セルの外装缶の底部に配置されていた保護回路基板が欠損していたが、いずれも外装缶に著しい損傷は認められなかった。 ○事故発生時に使用されていた純正品のACアダプターに著しい焼損は認められなかったが、出力電圧は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
40	A202400757 令和6年9月21日(東京都) 令和6年10月23日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムイオンバッテリー内蔵)	LBT-HSC20PCBK	エレコム株式会社	(火災) 社員寮で当該製品を充電中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の充電を開始し、翌朝起床後、焦げ臭いにおいがしたため確認すると、当該製品が溶融していた。 ○当該製品は、本体のUSBコネクタ部に溶融が認められた。 ○当該製品は、確認できなかった。 ●当該製品の確認ができず、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
41	A202400776 令和6年9月15日(埼玉県) 令和6年10月28日	リチウム電池内蔵充電器	KIWAMI	株式会社3R	(火災) 当該製品を充電後、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の樹脂製外郭は、膨張及び変形しており、嵌合部から内蔵のリチウムイオン電池セルが露出していた。 ○電池セル内部の電極体は著しく焼損していた。 ○制御基板及び入出力用ケーブル等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
42	A202400810 令和6年10月4日(千葉県) 令和6年11月7日	リチウム電池内蔵充電器	A1217	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 本体が膨張した当該製品を車両内に置いていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、午前中の4時間ほど、屋外に駐車された自動車の助手席に置かれていた。 ○当該製品は樹脂製外郭が膨張し、充電しても満充電にならない状態であったことから、事故発生当日に家電販売店で回収してもらう予定であったとの申出内容であった。 ○当該製品は外観上、樹脂製外郭は焼失し、内蔵する制御基板及びリチウムポリマー電池セルが露出していた。 ○電池セルは、アルミラミネートフィルム外装が開裂しており、内部の電極体は正極アルミ箔及びセパレーターが焼失し、負極銅箔に著しい焼損が認められた。 ○制御基板は焼損し、電子部品が脱落していたが、銅箔パターンの焼失、基材の欠損及び穴空き等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
43	A202400811 令和6年10月29日(神奈川県) 令和6年11月7日	バッテリー(リチウムイオン、投光器用)	BAT-B52N	日動工業株式会社	(火災) 作業現場で当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、当該製品はかばんに入った状態で、投光器とは接続されておらず、充電中でもなかった。 ○当該製品は、樹脂製外郭の大部分が焼失して原形をとどめておらず、内蔵のリチウムイオン電池セル12個は焼損して飛び出していた。 ○電池セルの焼損は著しく、封口部の正極キャップが外れ、内部の電極体が露出した電池セルが複数個認められ、うち1個の電池セルで外装缶が開裂していた。 ○電池セルの側面に設置されていた保護基板は著しく焼損し、配線及び電子部品が脱落し、基材の一部が欠損していた。 ○制御基板は、バッテリー接続配線を除く配線及び電子部品が脱落していたが、基材に局所的な穴空きや欠損は認められなかった。 ○当該製品は、レンタル品であり、事故発生以前の詳細な使用状況は不明であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
44	A202400823 令和6年10月24日(東京都) 令和6年11月11日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムイオンバッテリー内蔵)	WF-C700N	ソニーマーケティング株式会社	(火災) 当該製品を他社製充電器に接続して充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の充電ケースは、USBコネクタ一部付近で焼損しており、事故発生時に接続されていた他社製USBケーブルのプラグが挿し込まれたまま固着していた。 ○USBコネクタ部には異物が侵入した痕跡は確認できなかったが、ピンが1本外れていた。 ○基板は、USBコネクタ部以外の電子部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○充電ケース内部のリチウムイオンバッテリー、内部配線及びイヤホン本体に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、USBコネクタ部の異極間で短絡が生じて異常発熱し、焼損した可能性が考えられるが、事故発生以前の詳細な接続状態が特定できなかったため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
45	A202400829 令和6年9月26日(東京都) 令和6年11月12日	スピーカー(充電式)	4.55048E+12	株式会社大創産業	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は床に置いて充電中であった。 ○当該製品の樹脂製外郭は、大部分が焼失していた。 ○リチウムイオン電池セルは、内部の電極体に著しい焼損が認められた。 ○制御基板は全体が著しく焼損していた。 ○入力基板、内部配線等、その他の電気部品は確認できなかった。 ○当該製品の周辺には他に電気製品及び複数の電源コード等があったとこのことであるが、焼損状況も含め詳細については不明であった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しく確認できない部品があり、外部からの延焼により焼損した可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
46	A202400875 令和6年10月7日(東京都) 令和6年11月26日	スピーカー(充電式)	JBL FLIP6	ハーマンインターナショナル株式会社	(火災) 店舗で当該製品を使用中、異音とともに当該製品から発煙する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、片側の側面が破損して内部の構成部品が一部飛び出していたほか、近傍の樹脂製外郭が一部焼損して穴が空いていた。 ○内部はバッテリー収納部を中心に樹脂部分が焼損し、バッテリーからリチウムイオン電池セル2個が露出していた。 ○電池セル2個は外装フィルムが焼失して内部の電極体が座屈、変形する等して著しく損傷していたほか、1個の外装缶に複数の微細な穴空きが認められた。 ○基板及び内部配線に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
47	A202400879 令和6年9月22日(神奈川県) 令和6年11月27日	携帯電話機(スマートフォン)	P710(楽天モバイル株式会社ブランド:型Rakuten Hand)	Baytec Japan株式会社(現TINNO JAPAN株式会社)に事業移管)(楽天モバイル株式会社ブランド)	(火災) 宿泊施設で当該製品を充電中、当該製品から発煙する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は外観上、バッテリーが内蔵されている付近の液晶画面、樹脂製外郭が焼損して一部が焼失しており、膨張したバッテリーが露出していた。 ○バッテリー内部の角形リチウムポリマー電池セルは著しく焼損し、膨張しており、電極体には穴空き、欠損及び巻きずれが認められた。 ○当該製品は、電池セル以外の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○同等品を確認したところ、電池セルの電極体に巻きずれが認められた。 ○当該製品は、中古品として購入されたものであった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生前の詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
48	A202400891 令和6年10月26日(大阪府) 令和6年12月2日	コーヒーマー カー	DP2	ユーシーシー 上島珈琲株式 会社	(火災) 店舗の食堂で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生当時、当該製品は使用されていなかった。 ○当該製品の焼損は著しく、外郭樹脂は熔融し、底面で塊となっていた。 ○電源コードに断線等の出火の痕跡は認められなかった。 ○電源基板及び操作基板の焼損は著しく、基板に穴空き等の局所的な焼損は認められなかったが、大部分の部品が脱落し確認できなかった。 ○内部配線は一部確認できなかったが、確認できた配線に溶融痕は認められなかった。 ○ヒーター部は樹脂製外郭の表面のみ焼損しており、出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品が置かれたテーブル上には複数の電気製品及び紙コップ等の可燃物が置かれていた。 ●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	(A202500100と同一事故)
49	A202400939 令和6年10月18日(神奈川県) 令和6年12月16日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムポリマーバッテリー内蔵)	PT-UCTW1	株式会社FSC	(火災) 店舗で当該製品を充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の充電ケースはバッテリーが位置する付近の樹脂製外郭が焼損しバッテリーが露出していたが、2個のイヤホンに焼損は認められなかった。 ○バッテリーのリチウムポリマー電池セルの電極体は著しく焼損し、負極銅箔に穴空きが認められ、正極アルミ箔は一部焼失して粒状の溶融物が認められた。 ○メイン基板、端子基板及び保護回路基板からの出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時に使用されていたACアダプターの詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、充電ケース内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
50	A202400966 令和6年11月6日(栃木県) 令和6年12月23日	電気掃除機(充電式、スティック型)	D10	株式会社C & C	(火災) 当該製品を充電中、当該製品のACアダプター周辺から出火し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、壁に立て掛けられた状態で設置されており、製品本体を正面から見て右側の焼損が著しく、バッテリー及びモーター部は脱落し、床に落下していた。 ○バッテリーは右側の樹脂製外郭が焼損、熔融していたが、原形はとどめていた。 ○モーター等の当該製品本体内部の電気部品は確認できなかった。 ○ACアダプターは、当該製品の右側に位置する壁コンセントに接続されており、本体は樹脂製外郭が一部焼失し、内部の電気部品が一部露出していた。 ○ACアダプターの電源プラグに欠損、溶融等の出火の痕跡は認められなかった。 ○ACアダプターのDCコードは、大部分の被覆が焼失していたが、芯線の断線及び溶融の有無は確認できなかった。 ●当該製品は、ACアダプター周辺から出火した可能性が考えられるが、当該製品及びACアダプターの詳細が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
51	A202400968 令和6年11月30日(千葉県) 令和6年12月24日	リチウム電池内蔵充電器	A1217	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品でスマートフォンの充電をしようとしたができなかったため、当該製品を他社製ACアダプターで充電していたところ出火した。 ○当該製品内蔵の角形リチウムポリマー電池セルは、電極体の焼損が著しく、負極銅箔に破断及び欠損が認められた。 ○基板は焼損し、電子部品の一部が脱落していたが、基板上での短絡痕、基材の穴空き等の異常は認められなかった。 ○充電に使用していた他社製の充電ケーブル付きACアダプターに焼損は認められなかった。 ○当該製品は、事故発生当日の朝から樹脂製外郭が膨張していた。 ●当該製品内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
52	A202400971 令和6年12月15日(東京都) 令和6年12月24日	リチウム電池内蔵充電器	CIO-MB20W2C-N-10000	株式会社CIO	(火災) 当該製品に他社製の充電ケーブル及びACアダプターを接続して充電中、当該製品と充電ケーブルの接続部を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は外観上、USBコネクタ部周辺の樹脂製外郭に焼損が認められたが、コネクタ部以外に異常は認められなかった。 ○当該製品に接続されていた他社製USBケーブルは、接続部周辺の樹脂製外郭が焼損しており、プラグの一部が分離して当該製品のUSBコネクタ部に溶着していた。 ○焼損したUSBコネクタ部の詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、USBコネクタ部で異常発熱が生じて焼損したものと推定されるが、焼損箇所の詳細が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
53	A202400983 令和6年12月14日(茨城県) 令和6年12月26日	電気カーペット	HC-IR100	株式会社千住	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、本体中央部を中心に大部分が焼失していた。 ○ヒーター線は一部断線しており、断線したヒーター線の発熱線と検知線に溶融痕が認められた。 ○当該製品の電源コード及びコントローラーは焼損せずに残存していた。 ○コントローラー内の制御基板に取り付けられていた温度ヒューズは切れておらず、他の安全装置にも作動した形跡は認められなかった。 ○事故発生時の詳細な使用状況は、確認できなかった。 ○事故発生場所には、当該製品の他に事業者名不明の複数の暖房器具があった。 ●当該製品は、一部のヒーター線が断線し、断線部に溶融痕が認められたことから、ヒーター線が異常発熱した可能性が考えられるが、詳細な使用状況が不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
54	A202400998 令和6年12月24日(茨城県) 令和7年1月6日	空気清浄機(加湿機能付)	KC-H50	シャープ株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、当該製品はコンセントに接続されていたが、使用されていなかった。 ○当該製品は焼損が著しく、樹脂製部品は溶融して原形をとどめていなかった。 ○電源基板は焼損が著しく、大半が欠損していた。 ○制御基板及びフロート基板は確認できなかった。 ○電源コードは、本体内部で断線し、その先端に溶融痕が認められたが、屈曲等応力の加わる位置ではなかった。 ○その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
55	A202401026 令和6年12月30日(神奈川県) 令和7年1月16日	ノートパソコン	CF-S9LYFSDR	パナソニック株式会社(現 パナソニックコネクタ株式会社)	(火災) 店舗で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は底部背面に装着されているバッテリー及びその周辺が焼損し、バッテリーに内蔵のリチウムイオン電池セルが露出していた。 ○内蔵の電池セル8個は著しく焼損し、そのうち6個に外装缶の開裂等が認められ、複数の電池セルは内部の電極体密度が低下していた。 ○メイン基板等その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○ACアダプター及び電源コードに著しい焼損は認められなかった。 ○事故発生以前の当該製品の修理履歴は不明であった。 ●当該製品は、バッテリーに内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、事故発生前の使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
56	A202401032 令和6年3月20日(神奈川県) 令和7年1月17日	電動アシスト自転車	KH-DCY01	株式会社カイホウジャパン	(火災) 火災が発生し、現場に当該製品があった。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品のバッテリーを充電中に、バッテリーから出火した。 ○当該製品の詳細は確認できなかった。 ●当該製品の確認ができず、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
57	A202401043 令和7年1月11日(東京都) 令和7年1月21日	電気温風機	MFH-601(株式会社山善ブランド)	株式会社ミュージコーポレーション(現 株式会社ミュージー)(株式会社山善ブランド)	(火災) 当該製品の電源プラグ部及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の本体に焼損等の異常は認められなかった。 ○電源プラグは著しく焼損し、栓刃カシメ部付近は両極とも溶融、焼失していた。 ○当該製品の電源プラグを接続していた壁コンセントは著しく焼損していた。 ●当該製品は、電源プラグ内部で異常発熱が生じ、焼損したものと推定されるが、電源プラグの焼損が著しく、カシメ部が焼失して確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
58	A202401058 令和7年1月11日(和歌山県) 令和7年1月23日	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用)	SPSS-55E-SN(株式会社サニックスブランド)	三洋電機株式会社(株式会社サニックスブランド)	(火災) 施設で当該製品から発火する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○異音が生じたので確認すると、当該製品の前面カバーが本体から外れていて、内部から出火していた。 ○当該製品は、外郭外側に焼損は認められず、内側の上部にすずが付着していた。 ○AC出力基板の平滑用フィルムコンデンサーは、樹脂製外郭が著しく溶融し、内部のフィルムが焼失していた。 ○メイン基板、制御基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品は直流地絡、機器保護異常等のエラー履歴が確認されたが、エラーが事故発生日に発生したものかどうかは特定できなかった。 ○事故現場周辺で当該製品の設置から事故発生までの2年9か月間に、122日の落雷日が観測されていた。 ●当該製品は、AC出力基板上のノイズ平滑用フィルムコンデンサーから出火したものと推定されるが、コンデンサーの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
59	A202401063 令和6年12月5日(京都府) 令和7年1月24日	ポータブル電源(リチウムイオン)	A1770	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 車両内に置いていた当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は車両内の後部座席に置かれていた。 ○当該製品は、樹脂製外郭が焼損しており、内部はリチウムイオン電池セル近傍が著しく焼損していた。 ○ACインバーター基板、DC制御基板等の各基板上に焼損が認められたが、銅箔パターンや銅箔パターンの溶融等の出火の痕跡は認められなかった。 ○電池セルは、合計96個が48個ずつ上下2段で構成されており、上段の中心部付近が著しく焼損し、安全弁が開放した電池セルも認められた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
60	A202401065 令和7年1月18日(愛知県) 令和7年1月27日	電気洗濯機	ES-GV8A-P	シャープ株式会社	(火災) 当該製品を使用中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、金属製外郭の前面側の焼損が著しかったが、上面前側の樹脂製操作パネルは残存していた。 ○電源コードは、本体外部に焼損は認められなかったが、本体内部で焼損し、数か所で断線、熔融痕が認められた。 ○操作基板及びその下に取り付けられたメイン基板は、ほとんど焼損していなかった。 ○洗濯モーター、蓋ロックスイッチ、給水弁等、その他の電気部品に熔融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の前に置かれていた他社製電気ストーブは焼損していたが、電源プラグはコンセントに接続されておらず、電気部品に出火に至る異常は認められなかった。 ●当該製品は、本体内部の電源コードの断線部に熔融痕が認められたことから、断線部でスパークが発生して出火した可能性が考えられるが、一次痕か二次痕か特定できず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
61	A202401077 令和6年12月13日(岐阜県) 令和7年1月28日	延長コード	HS-K1150W	株式会社オーム電機	(火災) 当該製品に電気製品を接続して使用していたところ、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、電源プラグを他社製延長コードのマルチタップ部に接続し、当該製品のマルチタップ部には他社製電気ストーブが接続されていた。 ○当該製品の電源プラグは、樹脂製外郭及びその付近の電源コードの被覆が焼損し、他社製延長コードのマルチタップ部は電源プラグ差し込み箇所樹脂製外郭に焼損が認められた。 ○電源プラグの栓刃に熔融等の出火した痕跡は認められなかった。 ○当該製品の電源コードは電源プラグ側のコードプロテクターの根元付近で半断線しており、断線部に熔融痕が認められた。 ○当該製品のマルチタップ部に出火した痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、電源プラグのコードプロテクター内部で、芯線に半断線が生じて異常発熱し、出火したものと考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
62	A202401078 令和7年1月25日(東京都) 令和7年1月28日	ヘアドライヤー	TD330B	テスコム電機株式会社	(火災) 当該製品の電源を入れた状態で当該製品を置いてその場を離れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は外観上、樹脂製外郭が著しく焼損していた。 ○本体内部の電気部品の詳細は確認できなかった。 ●当該製品の焼損は著しく、電気部品の詳細を確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
63	A202401088 令和7年1月22日(神奈川県) 令和7年1月30日	電気ストーブ (カーボンヒーター)	DC-K09	株式会社山善	(火災) 建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、当該製品はベッドの横に置かれており、就寝中の使用者が当該製品から火が出ていることに気付いた。 ○当該製品は全体が著しく焼損し、上部の樹脂製スイッチ、台座等の樹脂製部品が焼失していた。 ○首振り部の電源線、電源コード及び電源線と電源コードを接続するための基板は欠損しており、確認できなかった。 ○電源コードは本体側で一部確認できなかった。 ○ヒーター、首振りモーター、残存していた内部配線等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、ヒーター部に可燃物が接触したことで焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
64	A202401095 令和7年1月24日(神奈川県) 令和7年1月31日	電気湯沸器	WKP-R22	ピーコック魔法瓶工業株式会社	(火災) 施設で当該製品を延長コードに接続していたところ、当該製品の電源コード部を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の詳細な使用状況や焼損状況等の情報は得られなかった。 ○当該製品の周辺に他の製品もあったが、焼損状況等は不明であった。 ○当該製品は、確認できなかった。 ●当該製品の確認ができず、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
65	A202401101 令和7年1月29日(東京都) 令和7年2月4日	電気毛布	CB-180C(東京芝浦電気株式会社ブランド)	日本電熱株式会社(東京芝浦電気株式会社ブランド)	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の毛布部は、一部が焼損して、焼損箇所のヒーター線及び検知線が確認できず、焼損箇所以外ではヒーター線及び検知線が複数箇所ループ状に重なっていた。 ○コントローラー本体に外観上の異常はなく、内部のコンデンサーの容量が低下していたが、内部の電気部品に焼損は認められなかった。 ○コントローラー部と毛布部を接続する中継コード、電源コード、コネクタ部及び電源プラグに焼損等の異常は認められなかった。 ○当該製品は製造から約50年が経過していた。 ●当該製品は、毛布部のヒーター線が異常発熱して焼損したものと推定されるが、ヒーター線の一部が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
66	A202401106 令和6年8月10日(千葉県) 令和7年2月5日	充電器	AT-ADTC01b	合同会社アクセス	(火災) 他社製のACアダプター及び充電ケーブルを接続していた当該製品で他社製のバッテリーを充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、全体的に樹脂製外郭が焼損及び溶融し、充電していた他社製バッテリーとの接続部が溶着していた。 ○制御基板はほぼ焼損がない状態であったが、一部の部品が脱落しており、電解コンデンサーの膨張及び変形が認められた。 ○内部配線や他社製バッテリーとの接続端子に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品で充電中であった他社製バッテリーは、基板は焼損していたが局所的な焼損やパターンの欠損は認められず、確認できたリチウムイオン電池セル9個のうち7個の電池セルの正極側が開裂し、電極体が焼損、漏出していた。 ○当該製品に接続されていた他社製充電ケーブルは、当該製品との接続コネクタの根元で断線していたが、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、当該製品で充電していた他社製バッテリーが出火して延焼により、焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
67	A202401125 令和7年1月28日(大阪府) 令和7年2月12日	バッテリー(リチウムイオン、ルーター用)	HWBBJ1	ロワ・ジャパン 株式会社	(火災) 駅のホームで当該製品をリュックサックに入れて充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○使用者が電車内の座席に座ろうとして床にリュックサックを置いたところ、リュックサック内から発煙した。 ○当該製品のリチウムイオン電池セルは、外装の金属ケースが膨張、開裂し、電池セルの電極体は膨張していた。 ○保護基板に溶融、固着した樹脂及びびすが付着していたが、基材に焼損は認められなかった。 ○当該製品を取り付けていたルーター本体内部から出火した痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
68	A202401137 令和7年2月3日 (千葉県) 令和7年2月18日	タイマー(換気扇用)	ST-301e	エス・デイ・ケイ株式会社	(火災) 当該製品から発煙し、周辺を汚損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の樹脂製前面カバーは下部の電源線引き出し口から上部にかけてすずが付着し、前面カバー背面の端子カバーが電源用端子に相当する箇所で溶融し、黒く変色していた。 ○基板は電源用端子間の焼損が著しく、基板が欠損しており、近傍の銅箔パターンがはく離、溶融し、片側の端子台が基板から脱落し、もう一方の端子台の4本の足のうち、3本は基板から外れていた。 ○電源用の端子台は端子台間の焼損が著しく、端子台の足及びねじの下部に溶融が認められた。 ○電源線と圧着端子のカシメ部に溶融等の出火の痕跡は認められなかった。 ○基板は、電源用端子近傍の欠損部以外は、すずの付着は認められたが、電子部品は残存し、基材の欠損、銅箔パターンの溶融は認められず、腐食や水分の付着等の痕跡は認められなかった。 ○当該製品を設置した際の詳細な施工状況は不明であった。 ●当該製品は、基板の電源用端子間で短絡が生じたため異常発熱し、焼損したものと推定されるが、電源用端子の焼損が著しく、詳細な施工状態が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
69	A202401138 令和6年12月14日 (兵庫県) 令和7年2月18日	電動アシスト自転車	BE-ELSW012	パナソニックサイクルテック株式会社	(重傷1名) 当該製品で走行中、ブレーキを掛けたところ、前輪がロックし、身体が投げ出され、右腕を負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○使用者は、事故当日に当該製品で擦れるような音を聞き、前輪を確認したが異常は認められなかったため当該製品で走行し、右折しようとして前ブレーキを掛けた際に前輪がロックし、身体が右側に投げ出され、右腕を骨折したとの申出内容であった。 ○事故後に当該製品を確認したところ、前輪タイヤは完全に空気が抜けた状態であった。 ○当該製品の前輪は、回転時にブレーキシューがリム及び前泥よけのいずれにも接触しておらず、タイヤにロックしたような痕跡は認められず、前輪の回転時に擦れるような音は認められなかった。 ○前輪タイヤの虫ゴムが破れており、空気が抜ける状態になっていたが、虫ゴムが破れた経緯は不明であった。 ○前輪タイヤの内側及びチューブに微少な擦れ痕はあったが、低圧状態で走行したような痕跡は認められなかった。 ○当該製品の虫ゴムを交換して空気を入れたところ、適正空気圧を保っており、その状態で実走行したところ、前ブレーキ及びハンドル動作に異常は認められず、前輪がロックするような事象は認められなかった。 ○取扱説明書には、「異音や異常を感じたときは、必ず、販売店又は修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士(自転車組立整備士)により点検、整備を受ける。」、「タイヤの空気圧を確認せずに走行しない。ハンドルが取られ、転倒や衝突によるけがのおそれがある。」旨、記載されている。 ●当該製品は、タイヤの虫ゴムが破れていたため空気圧が異常低下し、走行時の安定性が損なわれたことでブレーキ操作時にバランスを崩して転倒した可能性が考えられるが、虫ゴムが破れた経緯が不明であり、製品起因であるか否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
70	A202401148 令和7年2月9日 (北海道) 令和7年2月19日	コンセント付洗面化粧台	DMW-75C	株式会社LIXILサンウエーブ製作所	(火災) 当該製品のコンセント部分を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品正面樹脂製外郭は、右下側のスイッチ部から、その上方にある1口コンセント、照明器具部分までが焼損し、背面の木板は、電源コード口出し部から上方が著しく焼損していた。 ○1口コンセントに電気製品は接続されておらず、溶融痕等の異常は認められなかった。 ○当該製品の電源コードは、当該製品内部で焼損及び断線しており、溶融痕が認められたが、断線箇所は通常の使用において外力が加わらない位置であった。 ○電源コードが焼損及び断線していた箇所は、照明スイッチの近傍に位置しており、照明スイッチは著しく焼損して接点の確認ができなかった。 ○当該製品の電源プラグは焼損しておらず、背面側にある壁コンセントに接続されていた。 ●当該製品は、電源コードが短絡し、異常発熱したため、出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく確認できない部品があることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
71	A202401153 令和6年5月28日 (福井県) 令和7年2月20日	折りたたみ椅子	YZX-6	株式会社山善	(重傷1名) 飲食店で当該製品に着座中、当該製品が壊れ、分解した脚部により、臀部を負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○使用者は、飲食店で当該製品に座った際にぐらつく状態であったが、そのまま使用を続け、座り直した際に当該製品が壊れて臀部を負傷したとの申出内容であった。 ○当該製品の事故発生以前の使用状況、使用前の点検実施等について、確認できなかった。 ○当該製品は廃棄されており、確認できなかった。 ○同等品には、「本商品は一般家庭用である。店舗用など業務用には使用しない。定期的に金具や接合箇所を点検し、外れ、がたつきなどの異常があれば直ちに使用を中止する。取付けねじは定期的に点検し、締め直す(1か月に1度程度)。」旨、警告が表示されていた。 ●当該製品の確認ができず、事故発生以前の詳細な使用状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
72	A202401156 令和7年2月8日 (大阪府) 令和7年2月21日	電気冷凍庫	DF-140-4	株式会社ダイレイ	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、無人の事務室で火災が発生し、当該製品及び床面等を焼損した。 ○当該製品の金属製外郭は全体的に焼損しており、機械室周辺が著しく焼損していた。 ○機械室内の温度調節器は焼失しており、確認できなかった。 ○その他機械室の圧縮機、起動リレー、ファンモーター、起動コンデンサー等の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品の焼損は著しく、温度調節器が焼失して確認できなかったこと、事故発生時の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
73	A202401164 令和7年2月9日 (神奈川県) 令和7年2月25日	延長コード	4.54913E+12	株式会社大創産業	(火災) 当該製品に他の延長コードを複数接続して使用中、当該製品の電源コード部を熔融する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、マルチタップ部のコード引き込み口にある樹脂製ブッシング内で電源コードの芯線が断線し、ブッシングの内面が焦げてタップの内部にすすが付着していた。 ○電源コードの断線部分は、両極とも芯線がばらけた状態で断線し、断線した芯線の一部に熔融痕が認められた。 ○当該製品のブッシング以外の部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品に接続していた4口延長コードに接続していたドライヤー、携帯型ゲーム機の定格消費電力の合計は、当該製品の定格消費電力の範囲内であった。 ○事故以前にコード部に過負荷等が加わっていたかは特定できなかった。 ●当該製品は、マルチタップ部のブッシング内で電源コード芯線に断線が生じて異常発熱し、焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
74	A202401166 令和7年1月15日 (大阪府) 令和7年2月26日	スピーカー(充電式)	JBL FLIP6	ハーマンインターナショナル株式会社	(火災) 異音が生じたため確認すると、当該製品から発煙し、周辺を汚損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭の一部が焼損していた。 ○当該製品は、樹脂製のバッテリーケースが熔融し、リチウムイオン電池セルが著しく焼損して、内部電極体が損傷していた。 ○内部の表示基板、メイン基板等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
75	A202401179 令和7年2月13日 (奈良県) 令和7年2月28日	サーキュレーター	HC-T2494	スリーアップ株式会社	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は全体的に著しく焼損し、台座部分に樹脂が焼け落ちている状態だった。 ○内部配線に断線、熔融痕等の異常は認められず、台座部分の基板、首振りモーター及び転倒時オフスイッチに熔融等の異常は認められなかった。 ○ヒーター部及びファンモーターは確認できず、ヒーター部に取付けられているサーモスタット及び温度ヒューズも確認できなかった。 ●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があるため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
76	A202401181 令和7年2月21日(東京都) 令和7年2月28日	リチウム電池内蔵充電器	CIO-MB20W-5000-MAS	株式会社CIO	(火災) 公共施設で、当該製品でスマートフォンを充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、当該製品は他社製スマートフォンを充電しながら、同時に事業者、型式が不明のリチウム電池内蔵充電器で充電中であった。 ○当該製品は外観上、樹脂製外郭の側面が溶融、変形しており、かん合部が一部開いていた。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セルは内部の電極体が著しく焼損し、負極銅箔に複数の穴空きが生じていた。 ○ワイヤレス充電基板は詳細が確認できなかったが、重ねて取り付けられていたメイン基板に焼損は認められなかった。 ○事故発生時に当該製品の充電に使用していたリチウム電池内蔵充電器は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
77	A202401182 令和7年2月17日(埼玉県) 令和7年2月28日	リチウム電池内蔵充電器	GH-BTF100	株式会社グリーンハウス	(火災) 事務所のロッカー内に置いていた当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は外観上、樹脂製外郭が著しく焼損、溶融し、内蔵されていたリチウムポリマー電池セルが露出していた。 ○電池セルは著しく焼損し、アルミラミネートフィルム外装が焼失しており、電極体同士が固着していた。 ○基板及び内部配線に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
78	A202401202 令和6年12月22日(千葉県) 令和7年3月5日	カイロ(充電式)	K1	日和商事株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の樹脂製外郭が溶融し、内部の部品が露出していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル2個はいずれも著しく焼損しており、内部の電極体の大半が焼失していた。 ○ヒーターに出火の痕跡は認められなかった。 ○基板は全体的にすずで覆われており、多くの部品が脱落又は欠損していたが、銅箔パターンの焼失、基材の穴空きは認められなかった。 ○事故発生時に使用していた他社製ACアダプター及びUSBケーブルに出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
79	A202401210 令和7年3月2日(北海道) 令和7年3月7日	蓄熱式電気暖房器	ETS-600TFJ	日本スティーベル株式会社	(火災) 当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、当該製品の右側面下方から火が出ているところを、帰宅した居住者が気付いて粉末消火器で初期消火した。 ○当該製品の金属製外郭に焼損は認められず、内部は右側面下方に取り付けられていたメイン基板周辺の一部に焼損が認められた。 ○メイン基板のリレー3個のうち2個の接点部周辺は著しく焼損して接点の確認できず、端子の一部が溶融していた。 ○残り1個のリレー端子に出火の痕跡は認められなかった。 ○メイン基板の基材は、焼損の著しい2個のリレーの端子直下に穴空きが認められた。 ○当該製品のメンテナンス及び修理履歴は確認できなかった。 ●当該製品は、リレー端子近傍で異常発熱が生じて出火したものと推定されるが、端子の焼損が著しく、事故発生以前の使用状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
80	A202401217 令和6年6月9日 (岐阜県) 令和7年3月7日	リチウム電池内蔵充電器	YZLMU1001	ウイルコム株式会社	(火災) 列車の中で、当該製品でモバイルWi-Fiを充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭の一部が焼損して開裂しており、内部の制御基板及びリチウムポリマー電池セルが露出していた。 ○電池セルは、一部に焼損が認められるとともに、アルミラミネートフィルム外装が開裂し、内部電極体が露出していた。 ○内部電極体は、正極の巻き終わり付近である外周部に欠損が認められた。 ○制御基板は、すずが付着していたが、焼損等の異常は認められなかった。 ○当該製品は、過去に落下させたことがあるとのことであり、樹脂製外郭が開くようになってしまったため、樹脂製外郭を粘着テープで巻いた状態で継続使用されていた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
81	A202401219 令和7年3月6日 (東京都) 令和7年3月10日	バッテリー(リチウムイオン、電動アシスト自転車用)	TFL36V6.4AH	鑫三海株式会社	(火災) 当該製品を取付けた電動アシスト自転車を車のトランクに入れていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は外観上、金属製外郭が著しく焼損していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル20個はいずれも著しく焼損していた。 ○充放電制御基板は著しく焼損し、基材の一部が割れていた。 ○当該製品の充電に使用していたACアダプターは確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
82	A202401223 令和6年5月14日 (神奈川県) 令和7年3月10日	扇風機	YSBR-A254 (株式会社山善ブランド)	株式会社ミュージコーポレーション (現 株式会社ミュージー) (株式会社山善ブランド)	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、前面側の樹脂製外郭が残存していたが、プロペラファン及び背面側の樹脂製外郭は焼損して原形をとどめていなかった。 ○当該製品のファンモーターは著しく焼損していたが、巻線の状態等の詳細は確認できなかった。 ○基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○電源コードは断線しており、電源プラグ側の電源コード及び栓柱に出火の痕跡は認められなかったが、本体側の電源コードは確認できなかった。 ○ルーバーモーター、首振りモーター、始動コンデンサー等のその他の電気部品は確認できなかった。 ●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
83	A202401228 令和7年3月2日 (愛知県) 令和7年3月11日	エアコン	F22TTES-W5	ダイキン工業株式会社	(火災) 店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、営業が終了した無人の店舗に設置されていた当該製品は、電源プラグはコンセントに接続されていたが運転中ではなかった。 ○当該製品は焼損が著しく、確認できた配線の一部に熔融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○ファンモーター、基板、電源プラグ等、その他の電気部品は確認できなかった。 ○当該製品の詳細は確認できなかった。 ●当該製品は、焼損が著しく、確認できない電気部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
84	A202401240 令和6年8月20日(岩手県) 令和7年3月13日	草刈機	BC2300	ハスクバーナ・ゼノア株式会社	(火災) 当該製品を使用しようとしたところ、当該製品から出火し、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品を始動するため、スターターロープを数回引いたところエンジン上部から約1mの炎が燃え上がった。 ○当該製品は、エンジン部分のみが焼損していた。 ○エンジン側面のキャブレター側は焼損が著しく、燃料パイプ及びプライマリーポンプは焼失していた。 ○エンジン下部にある燃料タンクは溶融し、脱落していた。 ●当該製品は焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
85	A202401242 令和7年2月28日(愛知県) 令和7年3月13日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	EZ9L45	パナソニック株式会社	(火災) 施設で、工具箱の上に当該製品を保管中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、電動工具に装着した状態で、3段積み重ねた箱の上に置かれており、最下段の箱には他社製バッテリーを装着した他社製電動工具が収納されていた。 ○当該製品は、樹脂製外郭が焼失して内部のリチウムイオン電池セル及び充電保護基板が脱落していた。 ○当該製品に内蔵された8個の電池セルのうち、確認できた6個の焼損が著しく、一部で封口体が外れて内部電極体が缶体に残っていなかった。 ○充電保護基板は著しく焼損していたが、局所的な焼損は認められなかった。 ○当該製品が装着されていた電動工具は、著しく焼損していたが、電気部品に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○他社製バッテリーの焼損が著しかった。 ○他社製電動工具に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルから出火した可能性が考えられるが、他社製バッテリーからの延焼により焼損した可能性も考えられ、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	(A202500031と同一事故)
86	A202401247 令和7年2月11日(大阪府) 令和7年3月13日	電気カーペット	2J・NI-210	株式会社ニトリ	(火災、軽傷2名) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が軽傷を負った。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、コントローラー部のみが残存し、電熱線が通っているカーペット本体は、全体を確認することができなかった。 ○コントローラー部は、底面の製品表示側にカーペット本体の一部が貼り付いた状態で焼損しており、カーペット本体を除去するとコントローラー部の表示が認められた。 ○基板は一部欠損し、基板上のマイコンICは確認できず、IC実装付近には溶融した銅粒の点在が認められた。 ○当該製品は壁の2口コンセントから延長コードを経由して接続されていたが、事故発生日、延長コードから当該製品の電源プラグを抜いて外出したとの申出内容であった。 ●当該製品は、焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な使用状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
87	A202401255 令和7年3月5日(大阪府) 令和7年3月18日	扇風機(充電式、携帯型)	ZFAN-190	東明JAPAN株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、ベッド下の引き出しに保管中に出火した。 ○当該製品は、送風部と持ち手部の接続箇所が焼損により分離しており、制御基板は本体から脱落して大部分が焼失していた。 ○リチウムイオン電池セルは、内部電極体が缶体内部で著しく焼損していた。 ○当該製品の外郭樹脂に変形が認められたが、電池セルの缶体に変形は認められなかった。 ○当該製品は、年1回程度の使用で、最後に使用してから約2年が経過していた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
88	A202401265 令和6年10月11日(北海道) 令和7年3月21日	バッテリー(リチウムイオン、電熱手袋用)	RSP018	株式会社アールエスタイチ	(火災) 当該製品に他社製の充電器を接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故現場にあった当該製品及び同等品は、2本の充電ケーブルを有する他社製充電器を接続して充電されており、事故現場から当該製品用の充電器は発見されなかった。 ○当該製品は焼損が著しく、布製外郭が焼失、内蔵のリチウムポリマー電池セル2個が著しく焼損し、基板は確認できなかった。 ○当該製品近傍にあった同等品は、布製外郭の一部が焼損していたが、内蔵の基板及び基板に並列接続された電池セル2個は焼損していなかった。 ○他社製充電器の出力電圧は8.4Vであり、当該製品の充電器の出力電圧は不明であった。 ○取扱説明書には、「必ず付属の充電器を使用する。それが守られない場合、発熱、爆発、火災、炎上等のおそれがある。」旨、記載されている。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
89	A202401277 令和6年12月18日(大阪府) 令和7年3月25日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	BL1860B	株式会社マキタ	(火災) 倉庫で当該製品を保管中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品のリチウムイオン電池セルは著しく焼損しており、樹脂製外郭、保護基板及び内部配線は確認できなかった。 ○事故発生場所では、連結タブの形状が異なる製品情報不明の電池セルが複数確認され、著しく焼損していた。 ●当該製品は、焼損が著しく確認できない部品があったこと及び外部から延焼した可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
90	A202401282 令和6年8月23日(神奈川県) 令和7年3月26日	マッサージ器(充電式)	TKS91EM005	TKクリエイティブ株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の樹脂製外郭は大部分が焼失していた。 ○内蔵のリチウムイオン電池セル2個のうち、1個は封口体が外れ、内部の電極体が一部欠損し、缶体の下部が空洞となっていた。 ○モーターの外郭が一部焼損していた。 ○基板及び事故発生時に充電に使用していた付属のACアダプターに出火した痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
91	A202401283 令和7年2月5日(兵庫県) 令和7年3月26日	ノートパソコン	Precision 5760	デル・テクノロジーズ株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品のディスプレイを閉じてACアダプターに接続して保管していたところ、当該製品から出火した。 ○当該製品はバッテリーが内蔵されている本体手前部の左側を中心に焼損していた。 ○バッテリーの樹脂製外郭が焼失し、6個のリチウムイオン電池セルは一律に焼損しており、BMS基板も確認できなかった。 ○入出力基板、メイン基板、ACアダプター等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、バッテリー内部のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
92	A202401286 令和7年2月27日(福島県) 令和7年3月27日	水槽用ろ過器	AT-50	スペクトラムブランドジャパン株式会社	(火災) 異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品はモーター部周辺の焼損が著しかった。 ○モーター内部は、樹脂が充てんされており、内部配線が断線して溶融痕が認められた。 ○羽根車の樹脂製回転軸は、溶融して固着が認められた。 ●当該製品は、モーター内部の配線が断線したため、スパークが生じて焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
93	A202401292 令和6年8月25日(神奈川県) 令和7年3月28日	GPS端末(充電式)	BWC_G	ビーサイズ株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品を充電中に異音が生じて、出火した。 ○当該製品は外観を含め、確認できなかった。 ●当該製品の確認ができず、詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
94	A202401295 令和7年3月21日(愛知県) 令和7年3月31日	電気掃除機(充電式、スティック型)	PV-BL3L	日立グローバルライフソリューションズ株式会社	(火災) 店舗の事務所で当該製品を充電中、火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、本体部分の樹脂製外郭、ダストカップ及び樹脂製延長管等の一部が焼損していた。 ○本体後部に取り付けられたバッテリーは、樹脂製外郭の一部が焼損していたが、内部の充放電保護基板及びリチウムイオン電池セルに焼損は認められなかった。 ○吸引モーターの排気が当たる位置に設置された制御基板は、焼損して部品の一部が脱落し、未使用時でも電圧が印加されているモーターヘッドへ電力を供給する銅箔パターン周辺の焼損が著しかった。 ○吸引モーターは焼損しておらず、出火の痕跡は認められなかった。 ○モーターヘッドは置台の上で焼損していたが、モーター等の電気部品に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○ACアダプターは焼損しておらず、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、制御基板で異常発熱が生じて出火したものと推定されるが、制御基板の焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
95	A202500002 令和7年1月2日(大阪府) 令和7年4月1日	スピーカー(充電式)	JBL FLIP6	ハーマンインターナショナル株式会社	(火災) 発煙に気が付き確認すると、当該製品の周辺を汚損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、バッテリーが格納されている側の側面が著しく焼損、焼失していた。 ○内部のリチウムイオン電池セルは、電極体に著しい焼損が認められた。 ○操作基板、メイン基板、スピーカー等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○充電時に使用していたACアダプターの出力電圧に異常は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報 告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
96	A202500006 令和7年2月27 日(兵庫県) 令和7年4月2日	リチウム電池内 蔵充電器	A1217	アンカー・ジャ パン株式会社	(火災) 車両内に置いていた 当該製品及び周辺を 焼損する火災が発生 した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品を入れたリュックサックを車両内の助手席に置き、日中そのままにしていたところ、当該製品及び助手席のシートが焼損した。 ○当該製品の外観は、樹脂製外郭が溶融、変形して一部焼失しており、内蔵のリチウムポリマー電池セルが露出していた。 ○電池セルは、電極体が著しく焼損して正極アルミ箔は焼失していた。 ○制御基板は確認できなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
97	A202500024 令和6年11月17 日(奈良県) 令和7年4月10 日	バッテリー(リチ ウムイオン、電 動アシスト自転 車用)	—	潤天株式会社 (現 株式会社 弘進)	(火災) 当該製品を充電中、 当該製品から出火す る火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、バッテリー内部のリチウムイオン電池セルが複数個飛び出していた。 ○電池セル40個のうち確認できた電池セルは38個であり、いずれの電池セルも焼損が著しく、缶体が開裂している電池セルも認められた。 ○出力側の配線や接続タブに溶融痕等の異常は認められなかった。 ○BMS基板は全体的に焼損していたが、局所的な焼け抜け等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
98	A202500031 令和7年2月28 日(愛知県) 令和7年4月11 日	バッテリー(リチ ウムイオン、電 動工具用)	BL1430	株式会社マキ タ	(火災) 施設で当該製品を箱 の中に置いていたと ころ、異音が生じたため確 認すると、当該製品を 焼損する火災が発生 していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、電動工具に装着した状態で、3段に積み重ねた箱の最下段に収納されており、箱の上には他社製バッテリーを装着した他社製電動工具が置かれていた。 ○当該製品は、樹脂製外郭が焼失して内部のリチウムイオン電池セルが脱落していた。 ○当該製品に内蔵された8個の電池セルのうち、確認できた7個の焼損が著しく、一部で封口体が外れて内部電極体が露出していた。 ○充電保護基板は、電動工具に装着された状態で焼損していたが、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品を装着していた電動工具は、著しく焼損していたが、電気部品に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○他社製バッテリーの焼損が著しかった。 ○他社製電動工具に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルから出火した可能性が考えられるが、他社製バッテリーからの延焼により焼損した可能性も考えられ、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	(A202401242と 同一事故)
99	A202500093 令和7年4月21 日(茨城県) 令和7年5月1日	スリッパ	1.10602E+12	富士工業株式 会社	(重傷1名) 当該製品を履いて階 段を下降中、転落し、 負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品を履いて左手で手すりを持ち、階段を一步降りようとしたところ、当該製品の甲バンド側部の隙間からつま先が出て、バランスを崩して転倒し、左半身と左頭部を強打した。 ○当該製品は、甲バンド及び表底がポリエステル製のクロスベルトのスリッパで、甲バンド側部に隙間がある構造であった。 ○当該製品は廃棄されており、確認できなかった。 ●当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
100	A202500100 令和6年10月26日(大阪府) 令和7年5月7日	ウォーターサーバー	SY-108	ソウイジャパン株式会社	(火災) 店舗の食堂で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生当時、当該製品は使用されていなかった。 ○当該製品の焼損は著しく、外郭樹脂は溶融しており、底面に塊となっていた。 ○内部基板に局所的な焼損は認められなかった。 ○温水タンク用ヒーター及びサーモスタットに出火の痕跡は認められなかった。 ○電源コードは製品内部で断線し溶融痕が認められ、内部配線も細切れ状態で複数の先端に溶融痕が認められた。 ○当該製品が置かれたテーブル上には複数の電気製品及び紙コップ等の可燃物が置かれていた。 ●当該製品は、内部配線が異常発熱し出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	(A202400891と同一事故)
101	A202500109 令和7年4月2日(岐阜県) 令和7年5月8日	携帯電話機(スマートフォン)	XT2091-1	モトローラ・モビリティ・ジャパン合同会社	(火災) 火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、背面側に樹脂製保護ケースが取り付けられた状態で焼損しており、保護ケースは内蔵のバッテリーの形に沿って溶融していたほか、液晶画面は、一部が損傷し、保護フィルムの一部が浮いていた。 ○本体背面側の樹脂製外郭は内蔵のバッテリーの形に沿って溶融して穴が空いており、バッテリーが露出していた。 ○バッテリーのリチウムポリマー電池セルは著しく焼損しており、アルミラミネートフィルム外装は開裂して、内部電極体の一部が露出していた。 ○内部電極体は焼損が著しく、下側の一部は消失していた。 ○バッテリーの充放電保護基板に、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○本体内部の基板に、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
102	A202500112 令和7年4月26日(大阪府) 令和7年5月9日	リチウム電池内蔵充電器	EMB-M5000	ハート電機サービス株式会社	(火災、軽傷1名) 当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品を枕元に置いて充電し、就寝していたところ出火した。 ○当該製品は焼損が著しく、樹脂製外郭の片面が外れて内部のリチウムポリマー電池セルが露出していた。 ○電池セルのアルミラミネートフィルムは破裂し、内部の電極体が露出していた。 ○電極体を展開すると、正極アルミ箔は焼失して確認できず、残存した負極銅箔の基板側端部に連続した欠損が認められた。 ○制御基板、接続していたUSBケーブル等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、当該製品の焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
103	A202500117 令和7年4月24日(愛知県) 令和7年5月13日	電気掃除機(充電式、スティック型)	不明	ダイソン株式会社	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭が著しく焼損し、原形をとどめていなかった。 ○バッテリーは焼損が著しく、内蔵のリチウムイオン電池セル7個のうち、1個は確認できなかったほか、5個は缶体が開裂して内部電極体の大部分が確認できず、残り1個は開裂していなかった。 ○バッテリーの充放電制御基板は、焼損が著しく、部品が脱落していたが、銅箔パターンに溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○モーター、制御基板等、その他の電気部品に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○事故発生時、当該製品は充電中ではなかった。 ○事故現場から収去された他社製延長コードは、両極の刃受金具の根元部分が溶融し、電源プラグの栓刃との接触部に溶融痕が認められた。 ●当該製品は、外部からの延焼により焼損したものと考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	(A202500167と同一事故)

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
104	A202500130 令和7年4月30日(大阪府) 令和7年5月16日	電動アシスト自転車	PA20SU	ヤマハ発動機株式会社	(重傷1名) 使用者(80歳代)が当該製品で走行しようとしたところ、チェーンが外れ、バランスを崩し、転倒、負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品に乗車して発進する際にペダルをこいだところ、異常に軽いと感じ、バランスを崩して転倒し、左足を骨折した。 ○使用者が事故発生效后に当該製品を確認すると、チェーンが外れていた。 ○販売店が外れていたチェーンを組み付けてから点検及び試乗したところ、異常は認められなかった。 ○当該製品は、チェーンの張り具合を自動調整するテンショナーを装備していた。 ○当該製品は、使用者が継続使用しているため、確認できなかった。 ○取扱説明書には、「乗車前点検は必ず実施する。」、「発進時はペダルをゆっくり踏み込む。強く踏みすぎない。」旨、記載されている。 ●当該製品の確認ができず、事故発生の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
105	A202500137 令和7年5月3日(愛知県) 令和7年5月19日	コンセント	WN1001	松下電工株式会社(現 パナソニック株式会社)	(火災) 施設の厨房で当該製品に延長コード及び電気製品を接続して使用中、当該製品及び接続されていた延長コードを焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、当該製品に事業者不明の他社製延長コードが接続され、延長コードには他社製業務用食器洗い乾燥機(定格消費電力:1200W)及び事業者不明の扇風機(定格消費電力:38W)が接続されていた。 ○当該製品は、樹脂製外郭の片極側を中心に焼損が認められた。 ○内部の刃受金具は、両極とも刃受部に溶融が認められ、一方の刃受部は溶断し、栓刃との接触面に亜酸化銅が認められた。 ○当該製品に接続されていた他社製延長コードの電源プラグは、片極の栓刃の刃受金具接触部に溶融が認められた。 ○当該製品は、使用開始から20年以上経過していた。 ●当該製品は、刃受金具と電源プラグの栓刃間で接触不良が生じて異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
106	A202500150 令和7年2月26日(京都府) 令和7年5月22日	バッテリー(リチウムイオン、電動バイク用)	AMS601500	マーベリックテクノロジー株式会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、未開封の梱包状態で3年2か月保管後の初回充電中に焼損した。 ○当該製品は、樹脂製外郭中央部の両側面及び天面の一部が焼失し、開口部から内部の円筒形リチウムイオン電池セルが複数個露出していた。 ○バッテリー中央付近の電池セルに、外装缶の開裂、電極体の漏出、電極体の焼損が認められた。 ○BMS基板の電気部品、ブロック電圧検知用コネクタ及び基板銅箔パターンに発熱の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルから出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、事故発生以前の詳細な状況が不明なため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
107	A202500163 令和7年5月13日(愛知県) 令和7年5月27日	電子レンジ	ER-M17Y	東芝ホームテクノ株式会社	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、正面から見て右側が焼損し、樹脂製の操作パネルが溶融していたが、庫内は焼損していなかった。 ○操作パネル側にある制御基板は全体的に焼損していたが、局所的な焼損は認められなかった。 ○制御基板に接続されるコネクタの配線は、結束部付近で断線し、溶融痕が認められた。 ○制御基板から脱落したメインリレーに出火の痕跡は認められなかったが、配線の途中部分に溶融痕が認められた。 ○ノイズフィルター基板は焼損していなかったが、電流ヒューズは切れていた。 ○マグネトロン、トランス、トランス用コンデンサー、ファンモーター等、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○操作パネル上部に取り付けられた出力基板及びタイマー基板は焼失して確認できなかった。 ●当該製品は、内部配線の結束部で短絡して異常発熱し、焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しく確認できない部品があり、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
108	A202500167 令和7年4月24日(愛知県) 令和7年5月28日	延長コード	E5016	大和電器株式会社	(火災) 当該製品に電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品の電源コードは、コードコネクターボディ側で被覆が焼損していたが、芯線に溶融痕等の出火の痕跡はなく、電源プラグに焼損は認められなかった。 ○コードコネクターボディの樹脂製外郭は、中央付近が割れて穴が空いていた。 ○コードコネクターボディの中子は、片極側が著しく焼損し、刃受金具の根元間が焼失していた。 ○刃受金具は、両極共に根元部分が溶融、欠損し、電源プラグの栓刃との接触部に溶融痕が認められた。 ○コードコネクターボディ内の電源コードカシメ部に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○事故現場から収去された他社製電気掃除機は、バッテリーの焼損が著しく、バッテリーに内蔵された電池セルの外装缶が開裂して、内部電極体の大部分が確認できなかった。 ●当該製品は、刃受金具と電源プラグの栓刃間で接触不良が生じて異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	(A202500117と同一事故)
109	A202500171 令和7年5月12日(兵庫県) 令和7年5月29日	USBケーブル	50426166	イケア・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を充電器に接続中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品を他社製のACアダプターに接続してベッドに置いていたところ、負荷機器が接続されていないUSBコネクター部が焼損した。 ○USBコネクターの接続端子内は溶融した樹脂で埋まっていた。 ○USBコネクターの外郭のシールド部に変形は認められなかった。 ○USBコネクター内の電源端子の先端付近が変形し、内部配線のはんだ外れが認められた。 ●当該製品は、USBコネクターの接続端子ピンに導電性異物が付着したことにより、異常発熱してコネクターが焼損した可能性が考えられるが、事故発生以前の詳細な使用状況等が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
110	A202500187 令和7年5月4日(愛知県) 令和7年6月3日	エアコン(室外機)	CU-221DFL	パナソニック株式会社	(火災) 当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製部品が焼失し、熱交換器のアルミ製放熱フィンは、背面の右側が溶融していた。 ○制御基板は、端子台からの電源配線接続部付近が破損し脱落して焼損しており、電流ヒューズ等の実装部品は確認できなかった。 ○端子台から制御基板に接続される電源配線は、途中で断線して断線部に溶融痕が認められたが、断線箇所は通常の使用において外力が加わる位置ではなかった。 ○端子台、圧縮機、ファンモーター等、その他の電気部品に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品が設置されていたベランダには、灰皿代わりに使用されていた樹脂製容器が置かれており、焼損していた。 ●当該製品は、外部からの延焼により焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
111	A202500209 令和7年5月2日(静岡県) 令和7年6月10日	リチウム電池内蔵充電器	PB-N83S	株式会社美貴本	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭が焼失し、内部のリチウムイオン電池セル2個が脱落していた。 ○充放電制御基板は確認できなかった。 ○電池セルは、2個とも焼損が著しく、封口体は外れていなかったが、缶体が開裂していた。 ○電池セルの内部電極体は、2個とも焼損が著しく、展開することはできなかった。 ○当該製品は、事故発生の約4時間前に充電が終了して、ACアダプターは外されていた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと考えられるが、電池セルの焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
112	A202500210 令和7年5月14日(愛知県) 令和7年6月11日	リチウム電池内蔵充電器	EC-C11	エレコム株式会社	(火災) 当該製品を充電中、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭の一部が焼損し、内部のリチウムポリマー電池セルが露出していたが、内部の充放電制御基板に出火の痕跡は認められなかった。 ○電池セルは焼損し、アルミラミネートフィルム外装が焼損して開裂し、内部電極体が露出していた。 ○内部電極体は、焼損が著しく、電池セルの一部は消失していた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
113	A202500212 令和7年4月13日(兵庫県) 令和7年6月11日	携帯電話機(スマートフォン)	ZE552KL-BK64S4	ASUS JAPAN株式会社	(火災) 当該製品に他社製の充電器及びUSBケーブルを接続して充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、充電を開始して約7時間経過後に、突然異音が発生し、火花が出た。 ○当該製品は、リチウムイオン電池セル搭載部周辺が焼損していた。 ○電池セルは全体的に膨張していたが、電極体には局所的に焼損した部位は認められなかった。 ○制御基板等、その他の電気部品に溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の充電に使用していた他社製充電器の出力電圧に異常は認められず、USBケーブルに断線等の異常は認められなかった。 ○当該製品を事故発生前に落下させたことがあった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損は著しく、事故発生前の使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
114	A202500214 令和7年3月16日(滋賀県) 令和7年6月11日	電気ストーブ(パネルヒーター)	TPH-002	株式会社万通商事	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○使用者は、室内犬の暖房のために当該製品を通電状態にしてソファの上に設置して外出していたところ、当該製品及び周辺が焼損していた。 ○当該製品の焼損は著しく、ヒーター本体であるアルミ箔フィルムヒーターパネルは焼失していた。 ○操作パネル基板は制御ICとサイリスター以外の電気部品が焼失し、銅箔パターンがはく離していた。 ○操作基板とヒーターパネルの接続端子に異常発熱の痕跡は認められなかった。 ○電源コードは操作パネル側の一部が焼失しており、断線部に溶融痕が認められた。 ○取扱説明書には「水平で安定した場所で使用すること。ソファやベッドの上など、不安定な場所で使用しない。」旨、記載されている。 ●当該製品の焼損は著しく、事故発生時の詳細な使用状況が不明であり、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
115	A202500232 令和7年3月3日(大阪府) 令和7年6月17日	電気こんろ	SIH-C224A	三化工業株式会社	(火災) 発煙に気付き確認すると、当該製品の上に置いていた可燃物及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生当時、使用者は外出していたため部屋は無人であり、当該製品のトッププレート上に食品、樹脂製容器等の可燃物が置かれていた。 ○当該製品は、トッププレートのラジエントヒーター部付近に溶融、固着した樹脂が付着していた。 ○内部の電気部品に焼損等の異常は認められなかった。 ○操作基板に異物の付着は認められなかった。 ○ラジエントヒーターの加熱は、電源スイッチを押した後、加熱スイッチを1秒以上押す必要があった。 ○取扱説明書には、「燃えやすいものをヒーターの上に置かない。火災のおそれがある。」旨、記載されている。 ●当該製品に出火の痕跡は認められないことから、意図せずラジエントヒーターのスイッチが入ったことにより、トッププレート上の可燃物が加熱され出火したものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
116	A202500235 令和7年6月8日 (佐賀県) 令和7年6月18日	自転車	AL65Z4	ブリヂストンサイクル株式会社	(重傷1名) 当該製品で下り坂を走行中、転倒し、負傷した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品で下り坂を走行中、左足が当該製品の前輪に接触し、左側に転倒した。 ○当該製品は確認できなかった。 ○事故発生後の前輪リムには3～4mmの横振れがあり、振れの大きい箇所がブレーキシューに接触する状態であった。 ○当該製品の販売時に販売店がブレーキ、ハンドル、タイヤ等を点検した際には異常は認められなかった。 ●当該製品の確認ができず、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
117	A202500239 令和7年5月10日 (大阪府) 令和7年6月19日	リチウム電池内蔵充電器	A1263	アンカー・ジャパン株式会社	(火災) 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○事故発生時、当該製品と他社製スマートフォンをUSBケーブルで接続した状態で、スマートフォンを使用していた。 ○当該製品の樹脂製外郭は、片側の側面部に焼損が認められた。 ○内蔵されているリチウムイオン電池セル3個のうち、外郭側面が焼損した側に位置する電池セルは、外装フィルムが焼失し、内部電極体も半分ほどが焼失していた。 ○他の電池セル2個は電圧が残存しており、出火した痕跡は認められなかった。 ○内蔵の基板に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、当該製品の焼損は著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
118	A202500241 令和7年5月5日 (大阪府) 令和7年6月19日	タブレット端末	iPad A1822	Apple Japan 合同会社	(火災) 当該製品を充電中、当該製品から発煙し、周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、外観上焼損は認められなかったが、液晶ディスプレイが浮いて、内蔵のリチウムイオン電池セルに膨張が認められた。 ○リチウムイオン電池2個のうち1個が焼損しており、電極体は正極アルミ箔が焼失していたが、負極銅箔に熔融等の異常は認められなかった。 ○メイン基板、BMS基板、その他電気部品に異常発熱等の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
119	A202500246 令和7年3月7日 (静岡県) 令和7年6月23日	イヤホン(コードレス式、マイク付、リチウムポリマーバッテリー内蔵)	ABT-AP5	株式会社エアーージェイ	(火災) 当該製品をバッグに入れていたところ、発煙に気づき確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、充電ケースの樹脂製外郭の底部分が焼損し、内部のリチウムポリマー電池セルの一部が露出していた。 ○充電ケースに収納されていたイヤホン本体の焼損は軽微であった。 ○充電ケースのリチウムポリマー電池セルは焼損が著しく、内部電極体は焼損していた。 ○充電ケースの制御基板は焼損しておらず、出火の痕跡は認められなかった。 ○イヤホンは、内部の制御基板及びリチウムポリマー電池セルが焼損しておらず、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、充電ケース内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
120	A202500302 令和7年6月27日(愛知県) 令和7年6月24日	ポータブルDVDプレーヤー	VS-GD900N	株式会社ベルソス	(火災) 商業施設で当該製品を充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭の底面の一部が焼損して穴が空き、右側面のSDカードスロット及びUSBポート、DVD装着部の一部に溶融が認められた。 ○DVD装着部の内部は、DVD駆動部に焼損は認められなかったが、バッテリーが焼損していた。 ○バッテリーは、リチウムイオン電池セル2個が焼損してアルミラミネートフィルム外装に穴が空いていた。 ○電池セルの内部電極体は2個とも焼損し、正極板は、巻き終わりの一部を残して焼失し、負極板は、形状が残存していたが、1個は一部に穴が空いていた。 ○制御基板はすすけていたが、溶融痕等の出火の痕跡は認められなかった。 ○付属のACアダプターは焼損しておらず、出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
121	A202500335 令和7年5月27日(京都府) 令和7年7月15日	バッテリー(リチウムイオン、電動工具用)	BSL36A18	工機ホールディングス株式会社	(火災) 車両内で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○車両内において荷台の焼損が著しかった箇所には、当該製品を含む同型式のバッテリー3台及び電動工具が置かれていた。 ○当該製品の外郭樹脂は確認できず、バッテリー3台に搭載されていたリチウムイオン電池セル計30個のうち、3個は確認できなかった。 ○確認できた27個の電池セルはいずれも著しく焼損していた。 ○バッテリー3台に搭載されていた各制御基板は著しく焼損しており、詳細は確認できなかった。 ○電動工具に出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火した可能性が考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
122	A202500350 令和7年6月2日(愛知県) 令和7年7月17日	リチウム電池内蔵充電器	YZLCC100P-10RD	株式会社住本製作所	(火災) 当該製品を充電中、当該製品から出火し、周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は焼損が著しく、アルミ製外郭は裏面を除いて全体的に焼損し、充放電制御基板はアルミ製外郭から脱落していた。 ○充放電制御基板は全体的に焼損していたが、局所的な焼損等の出火の痕跡は認められなかった。 ○内蔵のリチウムポリマー電池セルは、全体的に焼損しており、内部電極体に密度の低下が認められ、上下の側面にはアルミと推定される金属の粒が付着していた。 ○当該製品の充電に使用されていたACアダプターに焼損はなく、出力電圧に異常はなかった。 ○当該製品は、2～3年前に知人から譲渡されたものであった。 ●当該製品は、内蔵のリチウムポリマー電池セルが異常発熱し焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	
123	A202500366 令和7年6月16日(愛知県) 令和7年7月23日	リチウム電池内蔵充電器	P200	株式会社ECore	(火災) 車両内で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、樹脂製外郭の上部が焼失して内部の充放電制御基板が脱落し、リチウムイオン電池セルの内部電極体の全体が上方に移動して露出していた。 ○内部電極体は焼損し、正極板は、巻き終わりの一部を除いて焼損し、負極板は、全体が残存していたが、巻き始め部分に穴が空いていた。 ○電池セルのアルミラミネートフィルム外装は、残存する樹脂製外郭の中に残っており、上部が著しく焼損していた。 ○充放電制御基板は、焼損して部品の一部が脱落していたが、異常発熱等の出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品は、事故発生前日の昼頃から屋根のない駐車場に止められた自動車内の助手席に置かれており、事故発生当日は晴れで、11時には外気温が30℃を超えていた。 ●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	

No.	管理番号 事故発生日/報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	事故内容	判断理由	備考
124	A202500382 令和7年7月17日(大阪府) 令和7年7月25日	デジタル電話装置	TK-G-D9 6	株式会社大興電機製作所 (現 サクサ株式会社が事業承継)	(火災) 当該製品から発煙する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、長期間使用されずに通電状態でビルの駐輪場に放置されていた。 ○内部の基板は電源の一次側と二次側の境界に著しい焼損が認められた。 ○基板に実装された電気部品に、顕著な焼損や溶融の痕跡は認められなかった。 ○基板と金属製土台周囲に、金属製異物や昆虫等が侵入した痕跡は認められず、結露や水ぬれの痕跡も認められなかった。 ●当該製品は、内部の基板が異常発熱して焼損したものと推定されるが、事故発生前の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定に至らなかった。 	
125	A202500407 令和7年7月18日(静岡県) 令和7年7月31日	電動車いす(ハンドル形)	K504	株式会社セリオ	(火災) 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> ○当該製品は、約1か月前から使用や充電はされていなかった。 ○当該製品は焼損が著しく、金属製部品以外は大部分が焼失していた。 ○鉛バッテリーは焼損し、樹脂製外郭が焼損して内部電極体が露出していた。 ○コントロールユニットは、金属製外郭の一部が溶融し、内部の基板が著しく焼損していた。 ○ハンドルの操作部は焼損が著しく、配線の芯線のみが残存し、スイッチ類は確認できなかった。 ●当該製品は焼損が著しく、事故発生の詳細な状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	